

# 平成30年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	浦谷 健二	
		評価日	令和元年5月14日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（図書館・公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 文化的な魅力の発見・発信 ○市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。</p> <p>(2) 文化の担い手の育成 ○次世代の文化創造を担う子どもの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。</p> <p>○市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。</p> <p>(3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 ○文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。</p> <p>○多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。</p> <p>(4) 文化施設の維持管理・整備 ○市民が産業文化センター及び勤労福祉センターなどを快適に利用できるよう維持管理を行います。</p> <p>○文化施設整備基本構想・基本計画を策定し、老朽化した施設の整備を行います。</p>			

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進を図る。					
		単位	施設・団体					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5					
	指標 2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	アウトリーチ事業の中で学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0					
	指標 3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170
		実績値	7,100					
	指標 4	指標名	文化施設整備事業の進捗率					
		説明	平成30年度から令和5年度までの整備事業の進捗率を指標とする。					
単位		%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	10	20	40	60	80	100	
	実績値	10						
指標 5	指標名	文化芸術活動未来応援事業実施事業数						
	説明	市民の自主的・創造的な文化芸術活動を支援することで、若手芸術家の育成、市民の文化芸術参加機会の推進を図る。						
	単位	事業数						
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	2	3	4	5	6	
	実績値	0						

3. 施策への投入コスト

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	45,042	106,079				
	人件費	27,316	29,376				
収入	特定財源	579	28,224				
	一般財源	71,779	107,231				

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	文化芸術による交流促進事業	アートフェスタふじみ野2018や子どもアートチャレンジ（オペラ座の舞台体験「魔笛」を実施）、議場コンサートなどを子どもから大人までが楽しめる文化芸術事業を実施した。	アートフェスタふじみ野2018には2,200人、子どもアートチャレンジは81人、議場コンサートは174人が参加し、文化・芸術に触れる機会を提供することで、文化芸術による交流の促進及び人材の育成を図った。	文化振興事業
取組②	アウトリーチ事業	地域協働学校（コミュニティ・スクール）が設置されている上野台小学校でサマーチャレンジ（マンガ教室、ランプシェード工作）を実施し、東台小学校では校内音楽会、音楽家の派遣を行い、また、アウトリーチ研修会を開催した。	上野台小ではマンガ教室に70人、ランプシェード工作に30人参加、東台小では小6対象にプロの音楽家による合唱指導や全校生徒対象にクラシック音楽に触れる機会を提供するなど、次世代の文化芸術を担う子どもの豊かな心や創造性を育んだ。	文化振興事業
取組③	文化の魅力発見・発信	アートの発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースの貸出しを行った。	市内に埋もれているアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし公表することで、市の魅力を高め、地域の活性化につながる効果を生み出した。	文化振興事業
取組④	文化施設の整備	文化施設の整備に向けた市民意見の収集を行い、文化施設整備基本構想・基本計画の策定を行った。また、上福岡公民館については早期の改修に向けて、大規模改修の実設計に着手した。	老朽化した施設を更新するとともに、文化施設整備基本構想・基本計画を策定することで、今後整備される文化施設が文化と人の交流拠点となるよう目指す。	文化施設整備事業
取組⑤	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある方まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を提供する。	令和元年度からの新規事業であり、アーティストの人材発掘と活用を進めることで、市民が気軽に文化芸術に親しめる機会を提供することで、地域の活性化の促進や市民の元気健康づくりに寄与し魅力あるふじみ野市を創造していく。	文化振興事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	文化振興計画の4つの基本方針「文化芸術による交流の促進」「文化的な魅力の発見と活用」「文化の担い手の育成」「地域文化の次世代への継承と発展」に基づき、ソフト面についてはアートフェスタふじみ野2018や子どもアートチャレンジ事業、アウトリーチ事業など様々な事業を展開することにより、文化芸術に触れる機会や多様な市民の交流、コミュニティづくりに寄与している。
行政資源の活用	今後は、文化芸術事業やアウトリーチ研修会を通して、市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を行い、市民文化の醸成や次世代の育成を図るとともに、ふじみ野市の文化を発信することで地域の活性化につなげる。
取組の有効性	ハード面については、平成29年度に示された「ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針」に基づき老朽化した上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センター、大井中央公民館の整備について、来年度に「文化施設整備基本構想・基本計画」策定し、市民が集まり、賑わいのある文化と人の交流拠点となる施設の整備を進めることで、未来につながる文化を創造するまちを目指す。
効果の成果	
効果が得られている	

# 平成30年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		勤労福祉センター管理運営事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		教育部 上福岡公民館	評価責任者	内田 徳子	
事務事業期間		平成17年度～	評価日	平成31年4月8日	
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立勤労福祉センター条例・ふじみ野市立勤労福祉センター管理運営規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	勤労者その他の市民の教養、文化の向上と福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	昭和55年勤労福祉センター開館以来、事務事業の目的達成のための施設の維持・管理に努めている。			
	事務事業の概要	ふじみ野市立勤労福祉センター条例第1条に施設の施設設置目的を達成するため、施設運営と維持管理を行う。			
	平成30年度の主な取組	当該施設を市民が快適に、また安全に安心して活動できるよう施設の維持管理を実施した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.50	0.70
		人件費	5,699	4,048	5,667
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.10	0.20
		人件費	747	368	736
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.20	0.30	0.00
		人件費	314	441	0
人件費計		6,760	4,857	6,403	
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		1,370	510	1,425
	委託料		29,263	28,272	30,800
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		47,633	0	0
	負担金、補助及び交付金		7	7	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		736	298	39
支出合計		85,455	33,504	38,667	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	2,849	0	3,000
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	49,145	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		33,461	33,504	35,667	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			294	293	310

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用人数（集会室含む）		
	説明	勤労福祉センター（集会室を含む。）を利用した延べ人数。文化教養を発表する場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	35,000	35,000	35,000
	実績値	34,490	37,693	
指標 2	指標名	貸出件数（集会室含む）		
	説明	勤労福祉センター（集会室を含む。）の延貸出数。文化教養を発表する場となっているかの指標。		
活動	単位	件		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	500	500	500
	実績値	359	491	
指標 3	指標名	ホール利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指数。 （（利用区分数）÷（利用可能区分数））×100		
成果	単位	%		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	23.00	25.00	25.00
	実績値	24.50	24.60	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◆勤労福祉センターの概要</p> <p>【定員（収容人数）】 ホール 598名 集会室 70名 計 668名</p> <p>【施設提供】 598席のホールを持ち、コンサートから演劇、講演会、発表会まで、芸術・文化の各種多様な催し物に利用される多目的ホール。集会室はサークル、クラブ活動などの打ち合わせ、研究会などに利用されている。</p> <p>【開館時間】 午前9時～午後10時</p> <p>◆施設の利用状況</p> <p>【平成30年度ホール利用内容】 講演会・講座 19回／コンサート 13回／カラオケ発表会 13回／芸能発表会 6回／式典 3回／映画会 2回／演劇・人形劇 2回／オペラ 1回／ピアノ・ヴァイオリン発表会 1回</p> <p>【施設利用率】 ホールH30年度 利用可能区分 924回／利用区分数 227回／利用率 24.6％／うち公用利用区分数 98回 集会室H30年度 利用可能区分 924回／利用区分数 547回／利用率 59.2％／うち公用利用区分数 117回</p> <p>◆施設管理状況 平成30年度 主な施設修繕・工事の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤労福祉センター誘導灯緊急修繕 48,600円</li> <li>・ 勤労福祉センター煙突緊急補強修繕 291,600円</li> <li>・ 勤労福祉センター談話室（控室）畳修繕 56,592円</li> <li>・ 勤労福祉センター集会室パーテーション修繕 50,738円</li> </ul>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	老朽化した施設を適正に維持して安全に安心して利用できるよう、施設の安全管理を行なう。また、公共施設適正配置計画に基づき、改修を計画的に行なう。
中長期的方向性	
継続	

# 平成30年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17～	評価日	平成31年4月5日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。また、老朽化した公民館等の文化施設の整備を進めるため基本構想・基本計画を策定する。		
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。また、平成28年度に「ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興施策を総合的に展開している。		
	事務事業の概要	①平成28年度に策定した文化振興計画に基づき、文化振興事業を開催する。 ②「文化芸術振興の拠点となる施設の在り方」及び「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」についての諮問・答申を行うため文化振興審議会を開催する。 ③市の施策に寄与すると認められる文化事業を奨励するため、文化事業の後援を行う。 ④市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。		
	平成30年度の主な取組	①平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、平成31年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。 ②「アートフェスタ」や「アウトリーチ」など子どもからシニアまで楽しめる文化芸術事業を包括連携協定団体、市内音楽家協会と連携し多くの参加を得るなかで人材の育成等普及啓発を進めた。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.25	1.10	0.80
		人件費	18,317	8,906	6,477
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50	0.80
		人件費	0	1,841	2,945
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.11	0.00
	人件費	0	157	0	
	人件費計	18,317	10,904	9,422	
事業費	報酬	151	331	273	
	賃金	0	149	0	
	需用費	411	304	624	
	委託料	300	12,880	1,000	
	使用料及び賃借料	77	297	285	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	307	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	827	607	828	
	支出合計	20,083	25,315	12,739	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	35	41
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	200
		その他	98	164	200
	一般財源	19,985	25,116	12,298	
	市民1人あたりの負担コスト(単位：円)	175	220	107	

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。 対象交流事業は、平成30年度アートフェスタ(包括連携協定(大学5、高校1)、市内中学(3校)、音楽家協会1、企業1)、ひとてまプロジェクト。		
活動	単位	団体		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	3	4	5
	実績値	5	5	
指標	指標名	文化事業への年間延べ参加(来場者)人数		
	説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。(5%増を目標値とする) 平成30年度実績ではアートフェスタ2,200人、ひとてまプロジェクト3,700人が主な実績となっているが、令和元年度はひとてまプロジェクトを予定していないため目標値は前年度の約5%増とした。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	3,541	4,860	5,090
	実績値	3,427	7,100	
指標	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	アウトリーチ事業のなかで学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数により文化芸術に触れる機会の拡大を図る。 平成30年度アウトリーチ研修会参加者20名の中から、令和元年度育成を予定している。 ※平成30年度に新規で設定した指標。		
成果	単位	人		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	3	5
	実績値	0	0	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>文化振興計画の施策に基づき市民への文化芸術事業の普及推進、新たな文化芸術を担う人材の育成に積極的に取り組んだ。</p> <p>(1) 文化振興審議会 ・文化振興に係る助成制度のあり方について、諮問・答申、未来応援事業助成制度(新規)を構築</p> <p>(2) 文化芸術による交流の促進</p> <p>① アートフェスタふじみ野2018(実行委員会への委託事業として実施) ・実施団体: ふじみ野市音楽家協会、包括連携協定大学・高校(文京学院大、東邦音大、大東文化大、尚美学園大、淑徳大、ふじみ野高校)、ソヨカふじみ野 ・実施日時: 11月25日(日)(24日(土:準備)) 総参加者: 2,200人</p> <p>② 子どもアートチャレンジ(子どもの頃から文化芸術に触れる機会の提供、オペラの舞台体験「魔笛」を実施した。)12月24日(月)午前10時~午後2時 ・今年度は幼児の参加者も募集し、4~8歳20名、9~13歳13名、当日集客数81名(前年度10人)</p> <p>③ 議場コンサート(議場を身近に感じていただき気軽な音楽コンサートを実施) ・夏: 親子対象、市民楽団フルートアンサンブルによる「ピーターとおおかみ」参加者74名 ・冬: 一般向け 東邦音楽大学大学院生による声楽アンサンブル 参加者 100名</p> <p>(3) アウトリーチ事業(上野台小・東台小地域協働学校と連携し文化芸術事業を学校で展開) ・上野台小: サマーチャレンジ(7/23リキのマンガ教室70人、7/30ランプシェード工作30人) ・東台小: 11/10開校10周年記念校内音楽会、2/15地域協働学校研究発表会への音楽家派遣 ・アウトリーチ研修会の開催: 平成31年3月25,27日 市内芸術家を対象 参加者20名</p> <p>(4) 包括連携協定団体との情報交換会 ・アートの力会議(参加団体: 文京学院大、東邦音大、大東文化大、尚美学園大、淑徳大)</p> <p>(5) 情報の発信・活動の場の提供 ・アート発見発信(年1回発行市民協働で作成)・市民ギャラリーの活用(年間)</p>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から始まった「ふじみ野市将来構想 From 2018 to 2030」の取組みと「ふじみ野市文化振興計画」を連動させ施策を体系的に実施し実績をあげることで将来構想を着実に実行していく。 文化振興計画の4つの基本方針「文化芸術による交流の促進」「文化的な魅力の発見と活用」「文化の担い手の育成」「地域文化の次世代への継承と発展」に基づき、多様な市民の交流・コミュニティづくりにつながるアートフェスタ事業、子どもの頃から文化芸術に触れる機会提供としてアウトリーチ事業、市の魅力の発信・活用として、アート発見・発信、市民ギャラリー活用事業など、様々な文化芸術事業を通じ、文化の次世代への継承と市民文化の醸成を推進し、新たな文化施設活用への基盤づくりと市民の心の豊かさ、元気健康づくりにつなげていくものである。
中長期的方向性	
拡充	

# 平成30年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性
			拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～	
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間	平成30年4月1日～	評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針		
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。	
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「ふじみ野市公共施設適正配置計画」策定後、「ふじみ野市公共施設白書」「ふじみ野市公共施設等総合管理計画」、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針」、「ふじみ野市公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」を策定した。	
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針」に基づき、耐震性のない大井中央公民館、耐震性を有する上福岡公民館・コミセン・勤労福祉センターについて、新たな文化施設整備事業の基本構想・基本計画のなかで整備方針を検討し、計画的に整備を進めていく。 検討に当たっては、文化振興審議会へ「新たな文化施設整備に係る基本構想・基本計画の骨子について」諮問・答申を行う。同時に民間活力を導入した整備手法の検討を行う。	
	平成30年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設整備基本構想・基本計画策定業務委託（当初平成31年3月策定⇒繰越明許後令和元年5月末）平成28年度実施「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針」により、大井中央公民館、上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センターの整備方針、整備手法をまとめる。</li> <li>文化施設整備アドバイザー業務委託（平成31年2月～令和2年3月31日 継続）勤労福祉センター改修設計、文化施設整備PFI事業等導入検討、事業者募集条件検討・作成等</li> <li>上福岡公民館・コミセン・勤労福祉センター改修計画策定委託（平成30年9月～平成31年3月）</li> <li>文化施設（上福岡公民館等改修工事）基本設計・実施設計業務（平成31年2月～令和元年11月継続）</li> </ul>	

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	1.20
		人件費	0	9,715
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50
		人件費	0	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
	人件費計	0	11,556	13,551
事業費	報酬	0	0	0
	賃金	0	0	1,038
	需用費	0	0	200
	委託料	0	1,404	70,218
	使用料及び賃借料	0	0	30
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	その他事業費	0	579	50
	支出合計	0	13,539	84,049
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	380
		その他	0	0
一般財源	0	13,159	59,266	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		#VALUE!	115	519

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化施設整備基本構想・基本計画の策定の進捗率		
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰越明許費設定により 平成30年度80%、令和元年度(4月～5月) 20% 計100%を指標とする。</li> <li>・ 「基本構想・基本計画」の検討については、教育委員会各委員会協議を経て文化振興審議会において「基本構想・基本計画(案)」を答申する。</li> <li>・ 令和元年度(4月～5月末)市内部での決定、パブリックコメントを経て計画決定する。</li> </ul>		
活動	単位	%		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0.00	80.00	100.00
	実績値	0.00	80.00	
指標 2	指標名	文化施設整備事業の進捗率		
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度～令和5年度までの整備事業の進捗率を指標とする。</li> </ul>		
成果	単位	%		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0.00	10.00	20.00
	実績値	0.00	10.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>(1) 文化施設整備基本構想・基本計画策定事業 平成30年4月～平成31年3月31日(繰越明許：平成31年4月～令和元年5月)</p> <p>①文化振興審議会への諮問「新たな文化施設整備に係る基本構想・基本計画の骨子について」 諮問・審議10/18、審議10/29、11/12、11/19(基本構想中間答申) 平成31年2/5(基本計画審議)、平成31年4月12、17、26日基本計画審議。4月26日最終答申 5月14日～31日基本構想・基本計画のパブリックコメント実施。令和元年6月3日 計画決定。</p> <p>②市民意見の収集 ・ 市民ワークショップの開催(市民対象：8/18・25・9/8)(土 午前9時30分～11時30分)42名 ・ 中学生からの意見収集(8/28(火)、8/29(水)市内5中学校生徒会対象)30名</p> <p>③教育委員会における各委員会 ・ 教育委員会議、公民館運営審議会、社会教育委員会、図書館運営協議会、資料館運営協議会への説明・意見収集(平成30年10月～平成31年4月まで各2回)</p> <p>(2) 文化施設整備アドバイザー業務委託(平成31年2月～令和2年3月31日 継続) 公募型プロポーザルにより業者選定を行い選定委員会において決定し共同事業体として契約締結し、新たな文化施設整備手法の検討、勤労福祉センター改修検討を行い基本計画に反映させた。</p> <p>(3) 上福岡公民館・コミセン・勤労福祉センター改修計画策定委託(平成30年9月～平成31年3月) 上福岡公民館・勤労福祉センターアスベスト調査、勤労福祉センターの躯体状況を調査検討し、「(仮称)東地域文化施設改修計画」としてまとめた。</p> <p>(4) 文化施設(上福岡公民館等改修工事)設計業務(平成31年2月～令和元年11月継続) ①設計業者の選定業務(入札～契約)を行い、桂設計事務所と契約を締結した。 ②基本設計策定にあたり、KDDI総合研究所と連携しリビングラボの手法を活用し利用者ワークショップの開催の調整を行った。開催予定日：平成31年4月14日(日)</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から開始された新たな文化施設整備事業により、老朽化した公民館等の文化施設を市民の生涯学習活動、市民活動、文化芸術活動、コミュニティ活動の拠点施設とするため、従来からの課題であった施設の複合化等も含めた整備の基本方針を定め整備を進める。
中長期的方向性	整備方針としては、大井中央公民館・大井図書館・新たなホールを複合化し新築する(仮称)西地域文化施設と、大規模改修を行う上福岡公民館・コミュニティセンター、新築する勤労福祉センターの併設となる(仮称)東地域文化施設として位置づけ市内の2大文化拠点施設とする。
拡充	整備事業は、令和元年度は、アドバイザー業務の中で、民間活力の導入を検討し事業者の選定から契約にいたる業務を進める。令和2年度から令和6年度(勤労福祉センター改築含む)まで新たな施設の設計・解体・施工、改修施設の設計・施工、施工後の管理運営まで含め、業務を進める。